

別記第1

様式第5

令和2年6月29日

平成31年度の主な事業報告

社会福祉法人 東康会

社会福祉事業

事業報告書一式別添

公益事業

事業報告書一式別添

収益事業

無し

平成 31 年 度 事 業 報 告 書

当期における当会の運営については、労働局と熊本県から委託された「公益事業 熊本県南部就業・生活支援センター結」を開設、らぼーる八代建家の耐震改修工事、グループホームみすみにおける新規建屋の建設更に、菊池市からの特別養護老人ホーム移譲に関する手続き等、種々同時並行となり煩雑を極めた。

又、当期の事業活動については、当期事業計画の基本方針に沿って遂行しましたが、特に不二の里において、授業者の不足補充が確保できず慢性的なスタッフ不足が影響し入居者が定員29名に対し16名程度で推移し、収益が大幅なマイナスとなった。らぼーる宇城においては、利用者確保がままならずこちらも給付費収益が大幅減となった。減少額が大きすぎて、法人全体でもカバーできず、赤字計上となった。

I-1 【法人全体の事業活動状況】

(単位:千円)

	平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増減②-① 対30年度	平成31年度 補正予算③	増減②-③ 対補正予算
サービス活動増減の部					
収益	683,626	629,595	▲ 54,031	630,720	▲ 1,125
費用	666,964	649,819	▲ 17,145	651,210	▲ 1,391
サービス活動増減差額	16,662	▲ 20,224	▲ 36,886	▲ 20,490	266
サービス活動外増減の部					
収益	2,924	7,422	4,498	2,310	5,112
費用	15,645	16,571	926	4,000	12,571
サービス活動外増減差額	▲ 12,721	▲ 9,149	3,572	▲ 1,690	▲ 7,459
経常増減差額	3,941	▲ 29,373	▲ 33,314	▲ 22,180	▲ 7,193
特別増減の部					
収益	30,605	84,966	54,361	8,030	76,936
費用	30,731	83,535	52,804	6,580	76,955
特別増減差額	▲ 126	1,431	1,557	1,450	▲ 19
当期活動増減差額	3,815	▲ 27,942	▲ 31,757	▲ 20,730	▲ 7,212
前期繰越活動増減差額	72,776	76,591	3,815	76,591	0
次期繰越活動増減差額	76,591	48,649	▲ 27,942	55,861	▲ 7,212

補足)決算書ではサービス及び拠点区分取引が消去されていますが当期活動増減差額は同額です。

(介護・訓練等給付費収益明細)

区分	事業所名	H30年度①	H31年度②	増減②-①	比率
社会福祉事業	ねんりん	64,776	66,981	2,205	3.4%
	グループホームみすみ	25,225	25,059	-166	-0.7%
	就労移行支援センターらぼーる宇城	33,748	16,708	-17,040	-50.5%
	生活訓練支援センターぶち・らぼーる宇城	10,534	7,672	-2,862	-27.2%
	就労支援センターあむーる	31,813	34,179	2,366	7.4%
	就労定着支援らぼーる宇城	0	3,750	3,750	#DIV/0!
	就労・生活支援センターらぼーる八代(就労)	18,271	20,890	2,619	14.3%
	就労・生活支援センターらぼーる八代(生活)	9,724	13,746	4,022	41.4%
	就労・生活支援センターらぼーる八代(B型)	27,038	31,777	4,739	17.5%
	グループホームともに	33,204	33,890	686	2.1%
	計	254,333	254,652	319	0.1%
	特別養護老人ホーム 不二の里	95,937	62,056	-33,881	-35.3%
	小計	350,270	316,708	-33,562	-9.6%
公益事業	就業・生活支援センター結(就業)	0	19,720	19,720	#DIV/0!
	就業・生活支援センター結(生活)	0	5,847	5,847	#DIV/0!
	計	0	25,567	25,567	#DIV/0!
	総合計	350,270	342,275	-7,995	-2.3%

I-2 【法人について】

当期の活動の概況と致しましては、収益は各事業所からの繰入金とし費用は人件費及び役員会関係経費が主であり、当期活動増減差額は504千円となりました。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ③-②
サービス活動増減の部	収益					
	経常寄附金・補助金等	100		▲ 100		0
	公益事業			0		0
	サービス活動収益計	100	0	▲ 100	0	0
	費用					
	人件費	25,619		▲ 25,619		0
	事業費			0		0
	事務費	4,332	5,042	710	5,120	▲ 78
	サービス活動費用計	29,951	5,042	▲ 24,909	5,120	▲ 78
	サービス活動増減差額	▲ 29,851	▲ 5,042	24,809	▲ 5,120	78
活動外増減の部	収益	482	230	▲ 252	240	▲ 10
	費用	835	1,264	429		1,264
	活動外増減差額	▲ 353	▲ 1,034	▲ 681	240	▲ 1,274
経常増減差額		▲ 30,204	▲ 6,076	24,128	▲ 4,880	▲ 1,196
特別増減の部	収益	30,600	6,580	▲ 24,020	6,580	0
	費用			0		0
	特別増減差額	30,600	6,580	▲ 24,020	6,580	0
当期活動増減差額		396	504	108	1,700	▲ 1,196
前期繰越活動増減差額		9,906	10,302	396	10,302	0
次期繰越活動増減差額		10,302	10,806	504	12,002	▲ 1,196

2. 当期における理事・監事及び評議員の体制

理事（任期:令和2年6月29日から選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

	氏名	役職	備考
1	山田純策	理事	理事長
2	山田健二	理事	
3	東家隆典	理事	
4	村上卓二郎	理事	
5	水野浩章	理事	
6	安武和義	理事	
7	岡村光洋	監事	
8	吉永賢一郎	監事	

評議員（任期：平成29年4月1日から選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで）

	氏名	役職	備考
1	溝見友一	評議員	
2	立山正道	評議員	
3	守田健一	評議員	
4	萩原直樹	評議員	
5	守田憲史	評議員	
6	稲村昌三	評議員	
7	橋本隆一	評議員	
8	邑上春美	評議員	

3. 今後の課題

今後の対処すべき重要事項を下記の3項目と致します。

- (1) 全体管理における本部と事業所間との円滑化及び本部設置場所の検討
- (2) 利用者の事業所利用率安定化による収支確保
- (3) 特別養護老人ホームのスタッフの定着及びスキルアップ
- (4) 全事業所における、従業者確保の検討

以上

I-3 【ねんりんについて】

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ③-②		
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業	225,558	193,432	▲ 32,126	193,680	▲ 248	
		障害福祉サービス事業					0	
		訓練等給付費	64,776	66,981	2,205	67,040	▲ 59	
		利用料等	5,608	2,848	▲ 2,760	2,840	8	
		その他			0		0	
		経常寄附金・補助金等	20,242	19,790	▲ 452	19,800	▲ 10	
		公益事業			0		0	
	サービス活動収益計		316,184	283,051	▲ 33,133	283,360	▲ 309	
	費用	原価	人件費	160,270	126,911	▲ 33,359	126,860	51
			経費	44,253	43,734	▲ 519	43,180	554
減価償却費			18,298	17,518	▲ 780	17,530	▲ 12	
材料費			23,702	860	▲ 22,842	700	160	
計			246,523	189,023	▲ 57,500	188,270	753	
事務費		人件費	35,149	72,955	37,806	73,190	▲ 235	
		経費	19,656	18,341	▲ 1,315	18,310	31	
		減価償却費	1,827	1,748	▲ 79	1,800	▲ 52	
		計	56,632	93,044	36,412	93,300	▲ 256	
サービス活動費用計		303,155	282,067	▲ 21,088	281,570	497		
サービス活動増減差額		13,029	984	▲ 12,045	1,790	▲ 806		
活動外増減の部	収益	2,074	1,775	▲ 299	1,420	355		
	費用	5,360	1,545	▲ 3,815	1,550	▲ 5		
	活動外増減差額	▲ 3,286	230	3,516	▲ 130	360		
経常増減差額		9,743	1,214	▲ 8,529	1,660	▲ 446		
特別増減の部	収益		1,296	1,296	1,300	▲ 4		
	費用	8,910	725	▲ 8,185	720	5		
	特別増減差額	▲ 8,910	571	9,481	580	▲ 9		
当期活動増減差額		833	1,785	952	2,240	▲ 455		
前期繰越活動増減差額		9,381	10,214	833	10,214	0		
次期繰越活動増減差額		10,214	11,999	1,785	12,454	▲ 455		

2. 運営管理

当期における「ねんりん」の運営管理は、利益体質の確立を目標に原価の低減、生産効率の向上に取り組みました。その中で職員は勿論のこと、利用者においても不良率の低減等に細心の注意を払うように努めました。

今後の生産活動においても、一層の「コストダウン」、「効率」、「スピード」が要求されることから、職員、利用者全員がコスト意識と連帯感をもって対処する所存であります。

(1) 利用者

当期は、利用者の多能化を目的とし、通常の持ち場以外の工程も経験させ

個々のスキルアップに取り組みました。

(2) 職員

当期も、引き続き生産効率化及び多能化を推進し、資格取得及びリスクアセスメント等労働基準監督署からの指導に基づく労働安全衛生に関する改善を実施しました。

3. 職員及び利用者の増減

①利用者

新規採用者	人数	退職者	人数
男性	1名	男性	3名
女性	1名	定員 40名、期末日現在の現員 39名	

②職員

新規採用者	人数	退職者	人数
男性	2名		

4. 地域福祉

前年度同様、「ねんりん」が機能していく為には、地域社会との密接な協力・連携が必要とされることから、以下の項目について留意致しました。

- (1) 利用者等に対し地域社会に積極的に参加を促し、地域社会への関心を高め、社会共生を図っていくための視点をもつこと。
- (2) 一般住民に対し開かれた社会福祉施設であるという視点をもつこと。
- (3) 地域の人々にねんりん、利用者をより理解してもらうこと。

5. 社会福祉関係機関及び保護者との連携について

利用者へのサービス提供につきましては、行政機関及び社会福祉施設等と連携をとりながら、利用者本人にとっての最善の対応を考慮し対処致しました。保護者との連携につきましては、定例保護者会を3月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら今回は見合わせました。

6. 今後の課題

今後の対処すべき重要事項を下記の4項目とし、就労継続支援事業における仕事量の確保に努めるものであります。

- (1) 職員及び利用者の多能化を図り、自主的な応援・協力体制の確立。
- (2) 直接、間接業務の見直しを図り、生産の効率化とコストダウンの徹底。
特に不良率の低減を重視する。
- (3) 労働安全衛生に関し不十分な事項の改善を実施し、より安全な労働環境整備に努める。
- (4) 障害福祉サービス事業所としての「質の高いサービス提供」を、職員に徹底させる。
- (5) 新型コロナウイルス対策を徹底し、感染防止を図る。

以上

I-4 【 グループホームみすみについて 】

賃貸借物件で運営していた3グループホームについて契約更新せず、自己所有の施設として新規に建設する事とした。竣工は令和2年3月とし令和2年度から新体制とすべく、土地取得から始めて、ギリギリではあったが無事3月末に新規建屋へ引越してきた。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス事業					
		訓練等給付費	25,225	25,059	▲ 166	25,030	29
		利用料等	20,051	19,927	▲ 124	19,860	67
		その他			0		0
		経常寄附金・補助金			0		0
		公益事業			0		0
		サービス活動収益計	45,276	44,986	▲ 290	44,890	96
	費用	人件費	5,523	7,604	2,081	7,610	▲ 6
		事業費	23,853	23,202	▲ 651	23,580	▲ 378
		事務費	7,714	8,629	915	8,210	419
減価償却費		3,027	3,228	201	3,360	▲ 132	
				0		0	
サービス活動費用計	40,117	42,663	2,546	42,760	▲ 97		
サービス活動増減差額		5,159	2,323	▲ 2,836	2,130	193	
活動外増減の部	収益	62	127	65	70	57	
	費用	1,698	292	▲ 1,406	200	92	
	活動外増減差額	▲ 1,636	▲ 165	1,471	▲ 130	▲ 35	
経常増減差額		3,523	2,158	▲ 1,365	2,000	158	
特別増減の部	収益			0		0	
	費用	2,870	1,800	▲ 1,070	1,800	0	
	特別増減差額	▲ 2,870	▲ 1,800	1,070	▲ 1,800	0	
当期活動増減差額		653	358	▲ 295	200	158	
前期繰越活動増減差額		10,774	11,427	653	11,427	0	
次期繰越活動増減差額		11,427	11,785	358	11,627	158	
年度末利用者数		35 名	33 名	-2 名	(定員37名)		

2. 運営管理

「グループホームみすみ」として「でこぼん」、「らんらん」、「みちしるべ」、「こちょうえん」、「ぱあ〜る」の計5箇所での運営は当年度迄とする。令和2年度からは、新規建設する「しおさい及びゆうなぎ(定員各6名)」、「こちょうえん」、「ぱあ〜る」とし、更に

サテライトを1名追加し、定員は33名とする。

それぞれのグループホームの運営については、世話人を中心に、利用者の意見を取り入れながら、オリジナリティーのあるグループホームを目指しました。

利用者一人ひとりが自立を目指し、地域と共同した日常生活を営むことができるように、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、食事の提供、相談、その他日常生活上の支援を行いました。

グループホーム毎の誕生会や、地域のカラオケ大会等への参加も積極的に行い地域交流を楽しむ機会の提供にも努めました。

利用者の余暇活動として、前年度と同様に宇城・上益城地区のグループホーム利用者を対象とした「うきうき楽しむ会」の行事(宿泊旅行、ボーリング大会等)にも積極的に参加し他のグループホーム利用者や世話人間の交流も図り、利用者満足度の向上に努めました。

(グループホームみすみ 令和2年3月31日現在)

名 称	利用者定員	現員	管理者	サービス管理責任者	世話人氏名
グループホームでこぼん	5名	4名	山田健二	浅田紳路	宮島照美
グループホームらんらん	7名	6名		宮田義也	徳本るり子
グループホームみちしるべ	5名	5名			有働由美子
グループホームこちょうえん	14名	13名			木村さゆり
グループホームぱあ〜る	6名	5名			波野初美
				(代替者)	西田 愛 中田道子
合 計)	37名	33名			(主)5名 (代替)2名 計7名

以上

I-5 【 就労移行支援センターらぼーる宇城について 】

当期の活動の概況と致しましては、利用者確保が出来ず、訓練等給付費収益が当初計画に対し大幅減となり、当期活動増減差額は▲8,950千円となり赤字となりました。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス事業					
		訓練等給付費	33,748	16,708	▲ 17,040	16,440	268
		利用料等	127	122	▲ 5	120	2
		その他			0		0
		サービス活動収益計	33,875	16,830	▲ 17,045	16,560	270
	費用	人件費	16,762	17,593	831	17,770	▲ 177
		経費	7,407	7,987	580	8,120	▲ 133
		減価償却費	83	260	177	270	▲ 10
		計	24,252	25,840	1,588	26,160	▲ 320
		サービス活動費用計	24,252	25,840	1,588	26,160	▲ 320
サービス活動増減差額		9,623	▲ 9,010	▲ 18,633	▲ 9,600	590	
活動外増減の部	収益	8	461	453	10	451	
	費用	973	1	▲ 972	10	▲ 9	
	活動外増減差額	▲ 965	460	1,425	0	460	
経常増減差額		8,658	▲ 8,550	▲ 17,208	▲ 9,600	1,050	
特別増減の部	収益			0		0	
	費用	6,640	400	▲ 6,240	400	0	
	特別増減差額	▲ 6,640	▲ 400	6,240	▲ 400	0	
当期活動増減差額		2,018	▲ 8,950	▲ 10,968	▲ 10,000	1,050	
前期繰越活動増減差額		16,988	19,006	2,018	19,006	0	
次期繰越活動増減差額		19,006	10,056	▲ 8,950	9,006	1,050	
年度末利用登録者数		13 名	10 名	-3 名	(定員:12名)		

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ①利用者の人権尊重の徹底
 - ②利用者本位のサービス提供と質的向上
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者登録数は10名(男:8名、女:2名)である。

以上

I-6 【生活訓練支援センターぶちらぼーる宇城について】

当期の活動の概況と致しましては、訓練等給付費収益は当初計画に対し、2,860千円減となりましたが、当期活動増減差額は336千円を確保させた。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動 増減の部	就労支援事業	13		▲ 13		0	
	障害福祉サービス事業						
	訓練等給付費	10,534	7,672	▲ 2,862	7,770	▲ 98	
	利用料等	160	83	▲ 77	90	▲ 7	
	その他			0		0	
	サービス活動収益計	10,707	7,755	▲ 2,952	7,860	▲ 105	
	費用 原価	人件費	4,956	5,525	569	5,530	▲ 5
		経費	2,754	3,625	871	3,710	▲ 85
		減価償却費	8	96	88	100	▲ 4
		計	7,718	9,246	1,528	9,340	▲ 94
	サービス活動費用計	7,718	9,246	1,528	9,340	▲ 94	
サービス活動増減差額	2,989	▲ 1,491	▲ 4,480	▲ 1,480	▲ 11		
活動外増 減の部	収益	2	2,028	2,026	10	2,018	
	費用	203	1	▲ 202	10	▲ 9	
	活動外増減差額	▲ 201	2,027	2,228	0	2,027	
経常増減差額	2,788	536	▲ 2,252	▲ 1,480	2,016		
特別増減 の部	収益			0		0	
	費用	2,240	200	▲ 2,040	200	0	
	特別増減差額	▲ 2,240	▲ 200	2,040	▲ 200	0	
当期活動増減差額	548	336	▲ 212	▲ 1,680	2,016		
前期繰越活動増減差額	5,843	6,391	548	6,391	0		
次期繰越活動増減差額	6,391	6,727	336	4,711	2,016		
年度末利用登録者数	10名	6名	-4名	(定員:6名)			

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ① 利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ② 利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者数は6名(男:3名、女:3名)である。

以上

I-7 【就労支援センターあむーるについて】

当期の活動の概況と致しましては、当初計画に対し訓練等給付費収益が2,360千円増となり当期活動増減差額は1,791千円を確保できました。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業	2,790	3,011	221	2,920	91
		障害福祉サービス事業					
		訓練等給付費	31,813	34,179	2,366	34,140	39
		利用料等	1,363	455	▲ 908	450	5
		サービス活動収益計	35,966	37,645	1,679	37,510	135
	費用 原価	就労支援事業費			0		0
		人件費	21,511	22,287	776	22,250	37
		経費	8,531	9,421	890	9,430	▲ 9
		減価償却費	199	445	246	440	5
		計	30,241	32,153	1,912	32,120	33
	サービス活動費用計	30,241	32,153	1,912	32,120	33	
	サービス活動増減差額	5,725	5,492	▲ 233	5,390	102	
活動外増減の部	収益	37	140	103	150	▲ 10	
	費用		3,144	3,144	90	3,054	
	活動外増減差額	37	▲ 3,004	▲ 3,041	60	▲ 3,064	
経常増減差額		5,762	2,488	▲ 3,274	5,450	▲ 2,962	
特別増減の部	収益		3	3	10	▲ 7	
	費用	5,323	700	▲ 4,623	700	0	
	特別増減差額	▲ 5,323	▲ 697	4,626	▲ 690	▲ 7	
当期活動増減差額		439	1,791	1,352	4,760	▲ 2,969	
前期繰越活動増減差額		9,297	9,736	439	9,736	0	
次期繰越活動増減差額		9,736	11,527	1,791	14,496	▲ 2,969	
年度末利用登録者数		24 名	25 名	1 名	(定員:20名)		

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ① 利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ② 利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者数は25名(男:15名、女:10名)である。

以上

I-8 【就労定着支援らぼーる宇城について】

当年度より新規開始し、専従者1名でしたが利用者の確保が出来及び継続利用となり事業として継続できる見込みとなりました。就労移行利用から就労された方を取り込み利用される方の定着も含め、安定的な利用率を維持する。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③		
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業		0		0		
		障害福祉サービス事業						
		訓練等給付費		3,750	3,750	3,750	0	
		サービス活動収益計	0	3,750	3,750	3,750	0	
	費用	原価	人件費		1,860	1,860	1,860	0
			経費		383	383	420	▲ 37
			減価償却費			0		0
			計	0	2,243	2,243	2,280	▲ 37
		サービス活動費用計	0	2,243	2,243	2,280	▲ 37	
	サービス活動増減差額	0	1,507	1,507	1,470	37		
活動外増減の部	収益			0		0		
	費用		1,037	1,037		1,037		
	活動外増減差額	0	▲ 1,037	▲ 1,037	0	▲ 1,037		
経常増減差額		0	470	470	1,470	▲ 1,000		
特別増減の部	収益			0		0		
	費用			0		0		
	特別増減差額	0	0	0	0	0		
当期活動増減差額		0	470	470	1,470	▲ 1,000		
前期繰越活動増減差額			0	0	0	0		
次期繰越活動増減差額		0	470	470	1,470	▲ 1,000		
年度末利用登録者数		名	14名	14名	(定員:20名)			

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ①利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ②利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 継続的なサービス提供の維持拡大に努めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の就労後継続している利用者数は14名

以上

I-9 【グループホームともに について】

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス事業					
		訓練等給付費	33,204	33,890	686	33,680	210
		利用料等	20,822	21,298	476	21,900	▲ 602
		その他			0		0
		サービス活動収益計	54,026	55,188	1,162	55,580	▲ 392
	費用	人件費	6,426	9,838	3,412	9,840	▲ 2
		事業費	24,325	24,624	299	25,730	▲ 1,106
		事務費	17,216	16,884	▲ 332	17,000	▲ 116
		減価償却費	196	225	29	220	5
		積立金取崩額			0		0
		サービス活動費用計	48,163	51,571	3,408	52,790	▲ 1,219
サービス活動増減差額	5,863	3,617	▲ 2,246	2,790	827		
活動外増減の部	収益		1	1	10	▲ 9	
	費用	1,812	2,013	201		2,013	
	活動外増減差額	▲ 1,812	▲ 2,012	▲ 200	10	▲ 2,022	
経常増減差額		4,051	1,605	▲ 2,446	2,800	▲ 1,195	
特別増減の部	収益			0		0	
	費用	2,830	1,260	▲ 1,570	1,260	0	
	特別増減差額	▲ 2,830	▲ 1,260	1,570	▲ 1,260	0	
当期活動増減差額		1,221	345	▲ 876	1,540	▲ 1,195	
前期繰越活動増減差額		7,818	9,039	1,221	9,039	0	
次期繰越活動増減差額		9,039	9,384	345	10,579	▲ 1,195	
年度末利用者数		40名	40名	0名	(定員40名)		

2. 運営管理

事業開始年度は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ①利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ②利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者数は40名である。(定員40名)

以上

I-10 【就労・生活支援センターらぼーる八代(就労)について】

耐震改修工事を補助金を活用して実施し、完成後は八代の4事業が同じ建家内で一体的に運営できる状況となった。2月にB型が、3月には結が引越しし、令和2年度からは、効率的に八代地区の運営が実施できることとなる。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業		0		0	
		障害福祉サービス事業					
		訓練等給付費	18,271	20,890	2,619	21,260	▲ 2,989
		利用料等	48	46	▲ 2	50	▲ 2
		その他			0		0
	サービス活動収益計		18,319	20,936	2,617	21,310	▲ 374
	費用 原価	就労支援事業費			0		0
		人件費	17,542	14,765	▲ 2,777	14,850	▲ 85
		経費	4,826	4,932	106	4,900	32
		減価償却費	2,975	1,086	▲ 1,889	1,130	▲ 44
		計	25,343	20,783	▲ 4,560	20,880	▲ 97
サービス活動費用計		25,343	20,783	▲ 4,560	20,880	▲ 97	
サービス活動増減差額		▲ 7,024	153	7,177	430	▲ 277	
活動外増減の部	収益	27	1,655	1,628	20	1,635	
	費用	91	706	615	720	▲ 14	
	活動外増減差額	▲ 64	949	1,013	▲ 700	1,649	
経常増減差額		▲ 7,088	1,102	8,190	▲ 270	1,372	
特別増減の部	収益		76,950	76,950		76,950	
	費用	770	77,350	76,580	400	76,950	
	特別増減差額	▲ 770	▲ 400	370	▲ 400	0	
当期活動増減差額		▲ 7,858	702	8,560	▲ 670	1,372	
前期繰越活動増減差額		7,333	▲ 525	▲ 7,858	▲ 525	0	
次期繰越活動増減差額		▲ 525	177	702	▲ 1,195	1,372	
年度末利用登録者数		13 名	11 名	-2 名	(定員:12名)		

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

(1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供

①利用者の人権尊重の徹底に努める。

②利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。

- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者数は11名(男:6名、女:5名)である。

以上

I-11 【就労・生活支援センターらぼーる八代(生活)について】

当期の活動の概況と致しましては、利用者確保及び利用率が当初計画を上回り、訓練等給付費収益が増となり、当期増減差額も十分確保でき1,320千円となった。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス事業					
		訓練等給付費	9,724	13,746	4,022	13,630	116
		利用料等			0	50	▲ 50
		その他	37	54	17		54
		サービス活動収益計	9,761	13,800	4,039	13,680	120
	費用 原価	就労支援事業費			0		0
		人件費	7,092	9,058	1,966	9,080	▲ 22
		経費	934	1,449	515	1,470	▲ 21
		減価償却費		5	5		5
		計	8,026	10,512	2,486	10,550	▲ 38
	サービス活動費用計	8,026	10,512	2,486	10,550	▲ 38	
	サービス活動増減差額	1,735	3,288	1,553	3,130	158	
活動外増減の部	収益		4	4	10	▲ 6	
	費用	67	1,632	1,565		1,632	
	活動外増減差額	▲ 67	▲ 1,628	▲ 1,561	10	▲ 1,638	
経常増減差額		1,668	1,660	▲ 8	3,140	▲ 1,480	
特別増減の部	収益			0		0	
	費用	500	340	▲ 160	340	0	
	特別増減差額	▲ 500	▲ 340	160	▲ 340	0	
当期活動増減差額		1,168	1,320	152	2,800	▲ 1,480	
前期繰越活動増減差額		▲ 1,525	▲ 357	1,168	▲ 357	0	
次期繰越活動増減差額		▲ 357	963	1,320	2,443	▲ 1,480	
年度末利用登録者数		11 名	14 名	3 名	(定員:6名)		

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ①利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ②利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に努めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者数は14名(男:7名、女:7名)である。

以上

I-12 【就労・生活支援センターらぼーる八代(B型)について】

当期の活動の概況と致しましては、利用者確保及び利用率が当初計画以上を達成し、訓練等給付費収益は当初計画に対し約5,000千円増の31777千円となり、当期増減差額は2,870千円となりました。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③		
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス事業	2,542	2,971		2,920		
		訓練等給付費	27,038	31,777	4,739	31,590	187	
		利用料等	98	122	24	120	2	
		サービス活動収益計	29,678	34,870	5,192	34,630	240	
	費用	就労支援事業費			0		0	
		原価	人件費	14,255	19,854	5,599	19,950	▲ 96
			経費	8,087	8,413	326	8,050	363
			減価償却費	1,095	1,147	52	1,150	▲ 3
			計	23,437	29,414	5,977	29,150	264
	サービス活動費用計	23,437	29,414	5,977	29,150	264		
サービス活動増減差額	6,241	5,456	▲ 785	5,480	▲ 24			
活動外増減の部	収益	1	7	6	10	▲ 3		
	費用	1,884	1,833	▲ 51		1,833		
	活動外増減差額	▲ 1,883	▲ 1,826	57	10	▲ 1,836		
経常増減差額		4,358	3,630	▲ 728	5,490	▲ 1,860		
特別増減の部	収益			0		0		
	費用	640	760	120	760	0		
	特別増減差額	▲ 640	▲ 760	▲ 120	▲ 760	0		
当期活動増減差額		3,718	2,870	▲ 848	4,730	▲ 1,860		
前期繰越活動増減差額		0	3,718	3,718	3,718	0		
次期繰越活動増減差額		3,718	6,588	2,870	8,448	▲ 1,860		
年度末利用登録者数		34 名	41 名	7 名	(定員:20名)			

2. 運営管理

当期は次の基本方針を策定し運営いたしました。

- (1) 利用者が安心して利用できる利用者本位のサービスの提供
 - ①利用者の人権尊重の徹底に努める。
 - ②利用者本位のサービス提供と質的向上に努める。
- (2) 地域や地域関係者とともに、発展する事業所を目指します。
- (3) 人材の充実を図り、活力ある事業所を目指します。
- (4) 利用者、支援員も「満足した」と思える事業所を目指します。
- (5) 継続的なサービス提供の維持拡大に勤めます。

3. 利用者実績

- (1) 令和2年3月31日現在の利用者数は41名(男:16名、女:25名)である。

以上

I-13 【不二の里について】

介護給付費収益は当初計画に43,500千円遠く及ばない結果となった。理由としては、退職等で従業者確保が困難となり、また派遣職員の確保もままならず、更に入居者の入院による利用率の低下等、複合的な要因で年間を通して16室程度での運営となった。結果、当期増減差額は▲29,610千円の大幅赤字となった。

職員の確保及び定着のための抜本的対策を急ぐ必要がある。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業 給付費	95,937	62,056	▲ 33,881	62,580	▲ 524
		利用料等	28,875	17,085	▲ 11,790	17,220	▲ 135
		経常寄附金・補助金等	4,922	6,076	1,154	6,090	▲ 14
		公益事業			0		0
		サービス活動収益計	129,734	85,217	▲ 44,517	85,890	▲ 673
	費用	人件費	74,755	62,249	▲ 12,506	62,510	▲ 261
		事業費	17,770	13,499	▲ 4,271	13,190	309
		事務費	27,254	29,845	2,591	29,580	265
		減価償却費	6,782	6,599	▲ 183	6,680	▲ 81
		サービス活動費用計	126,561	112,192	▲ 14,369	111,960	232
サービス活動増減差額		3,173	▲ 26,975	▲ 30,148	▲ 26,070	▲ 905	
活動外増減の部	収益	231	192	▲ 39	200	▲ 8	
	費用	2,722	2,966	244	1,420	1,546	
	活動外増減差額	▲ 2,491	▲ 2,774	▲ 283	▲ 1,220	▲ 1,554	
経常増減差額		682	▲ 29,749	▲ 30,431	▲ 27,290	▲ 2,459	
特別増減の部	収益	5	137	132	140	▲ 3	
	費用	8		▲ 8		0	
	特別増減差額	▲ 3	137	140	140	▲ 3	
当期活動増減差額		679	▲ 29,612	▲ 30,291	▲ 27,150	▲ 2,462	
前期繰越活動増減差額		▲ 3,041	▲ 2,362	679	▲ 2,362	0	
次期繰越活動増減差額		▲ 2,362	▲ 31,974	▲ 29,612	▲ 29,512	▲ 2,462	
年度末利用者数		29 名	29 名	0 名	(定員29名)		

2. 運営管理

次の基本理念及び運営方針に基づき入居者にサービスを提供しました。

(基本理念)

- (1) 明るく、家庭的な雰囲気での暮らしを提供する。
- (2) 利用者の個性を大切にサービスを提供する。
- (3) 地域に必要とされ愛される施設を目指す。

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。
- (6) いつでも地域の皆様に開放する。

3. サービス体制

管理者	:	全体統括
介護支援専門員	:	ケアプラン等作成
生活相談員	:	生活面の相談・指導
機能訓練指導員	:	機能維持及び低下防止の訓練指導
管理栄養士	:	栄養管理された食事の提供
看護師	:	健康面の支援
介護士	:	生活全般の支援（食事・排泄・娯楽等）
事務職	:	施設全般の総務・人事・経理

以上

I-14 【結(就業)について】

労働局からの委託で、就業支援を実施した。他の法人からの引継ぎの為、登録者は既に500名以上だったため、当初からフル操業となった。事務的な作業も国の指針通りなので、煩雑である。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業 給付費		0		0	
		公益事業		19,720	19,720	19,950	▲ 230
		サービス活動収益計	0	19,720	19,720	19,950	▲ 230
	費用	人件費		16,113	16,113	16,430	▲ 317
		事業費			0		0
		事務費		4,331	4,331	4,360	▲ 29
		減価償却費			0		0
		サービス活動費用計	0	20,444	20,444	20,790	▲ 346
	サービス活動増減差額		0	▲ 724	▲ 724	▲ 840	116
	活動外増減の部	収益		750	750	110	640
費用				0		0	
活動外増減差額		0	750	750	110	640	
経常増減差額		0	26	26	▲ 730	756	
特別増減の部	収益			0		0	
	費用			0		0	
	特別増減差額	0	0	0	0	0	
当期活動増減差額		0	26	26	▲ 730	756	
前期繰越活動増減差額			0	0	0	0	
次期繰越活動増減差額		0	26	26	▲ 730	756	

2. 運営管理

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。

以上

I-15 【結(生活)について】

熊本県の雇用創生課からの委託で、生活支援を実施した。他の法人からの引継ぎの為、既存就業支援と同様に登録者がいたため、当初からフル操業となった。事務的な作業も労働局と同様に国の指針に沿った処理方法であった。

1. 事業活動状況

(単位:千円)

		平成30年度 実績 ①	平成31年度 実績 ②	増 減 ②-①	平成31年度 補正予算③	増 減 ②-③	
サービス活動増減の部	収益	経常寄附金・補助金等		0		0	
		公益事業		5,847	5,847	5,750	97
		サービス活動収益計	0	5,847	5,847	5,750	97
	費用	人件費		4,027	4,027	4,140	▲ 113
		事業費			0		0
		事務費		1,620	1,620	1,600	20
		減価償却費			0		0
		サービス活動費用計	0	5,647	5,647	5,740	▲ 93
	サービス活動増減差額		0	200	200	10	190
	活動外増減の部	収益		48	48	50	▲ 2
費用			137	137		137	
活動外増減差額		0	▲ 89	▲ 89	50	▲ 139	
経常増減差額		0	111	111	60	51	
特別増減の部	収益			0		0	
	費用			0		0	
	特別増減差額	0	0	0	0	0	
当期活動増減差額		0	111	111	60	51	
前期繰越活動増減差額			0	0	0	0	
次期繰越活動増減差額		0	111	111	60	51	

2. 運営管理

(運営方針)

- (1) プライバシーの保護に努める。
- (2) 情報の公開に努める。
- (3) 利用者や家族の意見を積極的に聞く。
- (4) 常に笑顔で接することに努める。
- (5) 自己研鑽に努め、より質の高いケアを目指す。

以上

I-16 【主要行事一覧】

2019年度に当法人及び事業所が行った主要行事については、次のとおりです。

不二の里の主要行事については別紙参照ください。

月 日	行 事 名	事業所区分					摘 要
		ねん	Gみ	宇城	Gと	八代	
4月	職員会議(らぼーる宇城・八代)			○	○	○	毎月1回
	主任会議(らぼーる宇城・八代)			○	○	○	毎月1回
	ケース会議			○	○	○	毎月2回程度
	利用者セミナー			○			毎月1回開催
	職員会議・安全衛生委員会	○	○				毎月1回実施
	Gホームみすみ世話人会議		○				毎月1回実施
	Gホームともに世話人会議				○		毎月各Gホーム1回実施
	利用者全体会議	○					毎月最終金曜日実施
	Gホームみすみ室内外清掃		○				毎月1回実施
	8日 うきうき楽しむ会総会		○		○		Gホーム利用者参加
	22日 スポーツ大会						水泳1名参加
	27日 施設協会施設長連絡会						KKR
5月	13日 家族交流会			○	○		らぼーる宇城、郡浦公民館
	12日 スポーツ大会						陸上・ボーリング11名、引率職員3名
	28日 ねんりん避難訓練	○					年2回実施(5、11月)
	29日 施設協会評議員会						施設長・山崎参加/総合福祉センター
	20日 家族交流会					○	らぼーる八代
6月	3日 実習生受入れ	○					松橋支援1名 ~14日
	4~6 ヴェトナム出張						施設長/外国人介護職面接
	8日 平成30年度決算監事監査						岡村・吉永監事/ねんりんにて
	10日 実習生受入れ						氷川分校1名 ~21日
	12日 理事会						平成30年度決算報告他/理事長室
	17日 実習生受入れ						天草支援1名 ~28日
	21日 県指導監査事務説明会	○	○	○	○	○	県庁/山崎参加
	22日 消防点検(消防設備)	○	○				ねんりん、こちょうえん(年2回1回目)
	22・23 ねんりん旅行						雲仙訪問旅行
28日 評議委会						平成30年度決算報告他/Hニュースカイ	
7月	4日 障がい者福祉セミナー						施設長/東京
	5日 アイカ工業会議	○					扉会議(名古屋)/施設長・宮田
	12日 社会福祉法人経営者セミナー	○					理事長・山崎参加/Nスカイ
	14日 障がい者拠点研修会						らぼーる宇城にて全事業所職員/懇親会
	18・19 相談支援従事者研修	○	○				浅田・藤野受講
	24日 安全衛生関係等展示会	○					後藤/東京
	31日 県事業所実地指導	○	○				県2名、ねんりんにて

月 日	行 事 名	事業所区分					摘 要
		ねん	Gみ	宇城	Gと	八代	
8月	7日	アイカ工業(株)来工	○	○			3名/営業・生産部・品管
	11～15	夏季休暇	○	○	○	○	らぼーる等は14・15日出勤
	11～14	工場レイアウト変更	○				機械移設
	26日	有機溶剤健診	○				対象者3名(半年1回)
	27・28	健康診断(熊本総合病院)	○	○	○	○	健診車にて
	27日	人権問題推進員研修会					八代Hホール/山崎参加
	31日	GH入居者・世話人懇親会				○	GHともに・世話人・職員・GHみすみ一部
9月	11日	衛生管理講習会					後藤受講/グランメッセ
	14日	工場見学					松橋支援学校PTA15名+先生
	17日	実習生受入れ					松橋支援学校/2週間らんらん
	18日	社会保険事務研修			○		豊田/八代
	20日	環境測定	○				法定検査年2回(1回目)
	19・20	九州地区施設長等研究大会					施設長・高山・作本/ザ・ニューホテル
	21日	うきうき楽しむ会日帰り旅行					鹿児島ブドウ狩り
	24日	実習生受入れ	○	○			松橋支援学校1名3週間らんらん利用
	29日	GHともに世話人研修			○		12名みすみ病院で健康管理、ねんりん見学
10月	1日	ストレスチェック実施	○	○			衛生管理面から実施
	4日	産業安全衛生大会					後藤参加
	9日	三角地区民生員来工	○	○			30名、地域の施設研修
	19日	宇城地区家族交流会					郡浦公民館/ハーベキュー
	24日	青照館施設見学来工					学生5名、先生1名/三角地区
11月	5日	実習生受け入れ	○				ひのくに支援/2週間 自宅より
	13日	臨時理事会					ねんりんにて
	14日	働き方改革フォーラム					大阪/施設長参加
	14日	インフルエンザ予防接種	○	○	○		ねんりんにて/みすみ病院
	15日	ねんりん避難訓練	○				年2回実施(5、11月)
	16日	年末調整説明会					宇土税務署/山崎
	17日	家族セミナー/八代				○	八代にて
	28日	臨時評議員会					Nスカイホテルにて
12月	2日	宇城身体障害者福祉協会役員視察	○				16名
	6日	アイカ会議	○				施設長・宮田/名古屋
	8日	職員忘年会	○	○	○	○	
	14日	退職共済説明会					山崎参加/KKRホテル
	21日	消防点検(消防設備)	○	○			ねんりん、こちようえん・らぼーる(年2回2回目)
	28日	大掃除/仕事納め	○	○	○	○	工場午前中のみ
	29日	冬季休暇	○	○	○	○	1/5日まで

月 日	行 事 名	事業所区分					摘 要	
		ねん	Gみ	宇城	Gと	八代		
1月	6日	仕事始め			○		○	
	11日	新年会	○	○	○			職員・世話人・利用者/ねんりん・郡浦公民館
	18日	施設長連絡会						KKRホテル/施設長参加
2月	8日	らぼーる宇城家族懇親会			○	○		松橋ホワイトハルスにて/職員・保護者16名
	8日	らぼーる八代家族懇親会					○	八代Wハルス/職員・保護者
	10日	有機溶剤健診	○					対象者4名(半年1回)
	22日	宇城・上益城地区施設長会						施設長参加
	27日	雇用調整金説明会						後藤参加/ウイング松橋
3月		新型コロナウイルス感染防止対策にて外出等自粛						
	8日	定例理事会						ねんりんにて
	22日	環境測定	○					法定検査年2回(3月、9月)年2回
	26日	定例評議員会						平成31年度補正予算、令和2年度事業計画等

※ 略称説明

ねん : ねんりん、 Gみ : グループホームみすみ、 Gと : グループホームともに、らぼ : らぼーる宇城、
 ぷち・らぼーる宇城、あむーる、 八代 : らぼーる八代、 不二 : 不二の里

以 上

監査報告書

令和2年6月8日

社会福祉法人 東康会
理事長 山田 純策 殿

監事 吉永賢一郎



監事 岡村光洋



私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの平成31年度（2019年度）の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上